



東京山側デジタル推進機構
Tokyo Yamagawa Digital Initiative

会社紹介資料

Ver 1.6

会社概要

会社名	株式会社東京山側デジタル推進機構 Tokyo Yamagawa Digital Initiative
所在地	東京都あきる野市留原791-3
代表	足立恭平
設立日	2023年12月20日
資本金	100万円
連絡先	info@tydi.co.jp
WEBサイト	https://tydi.co.jp/



代表紹介



足立 恭平

TYDI | Tokyo Yamagawa Digital Initiative代表
(株式会社東京山側デジタル推進機構)

同志社大学政策学部卒業後、大手コンサルティングファームに入社。消費財・メディア・金融業界において、主にITに関するコンサルティングに従事。

その後、新規事業立ち上げに関与したいと考え、当時20名規模のベンチャーの総合コンサルティング・ファームに入社。

RPA(Robotic Process Automation)部門の立ち上げに0から携わる。メディア・通信・医療機器・製薬業界において、RPA導入コンサルタントとして従事する傍ら、RPAユニットの人材育成と営業活動を行う。

その後、フリーランスのITコンサルタントとして、大手EC企業の新物流拠点立ち上げや、大手専門商社による新規事業(ヘルスケアデータプラットフォーム)の立ち上げ、大手精密機器企業の事務サービス効率化AI導入など、案件単位でコンサルティング業務に従事。

2023年12月、東京山側でのデジタル化を推進したいという想いから、
TYDI | Tokyo Yamagawa Digital Initiative
日本名:東京山側デジタル推進機構 | を創業。

東京の山側という
自然資源が豊かで
大都市圏に近隣接した
比類なき高価値なフィールド



ミッション(1/2)

創造力を起点とし、

持続可能な地域社会の形成と、

世界に通用する日本企業の成長に寄与する。

ミッション(2/2)

新しい事業・サービスを次々と創出する。

創造力を起点とし、

ローカルスタートアップとして、価値ある地域の歴史、文化、自然、そして人々の営みが、将来にわたり続いていくことに貢献する。

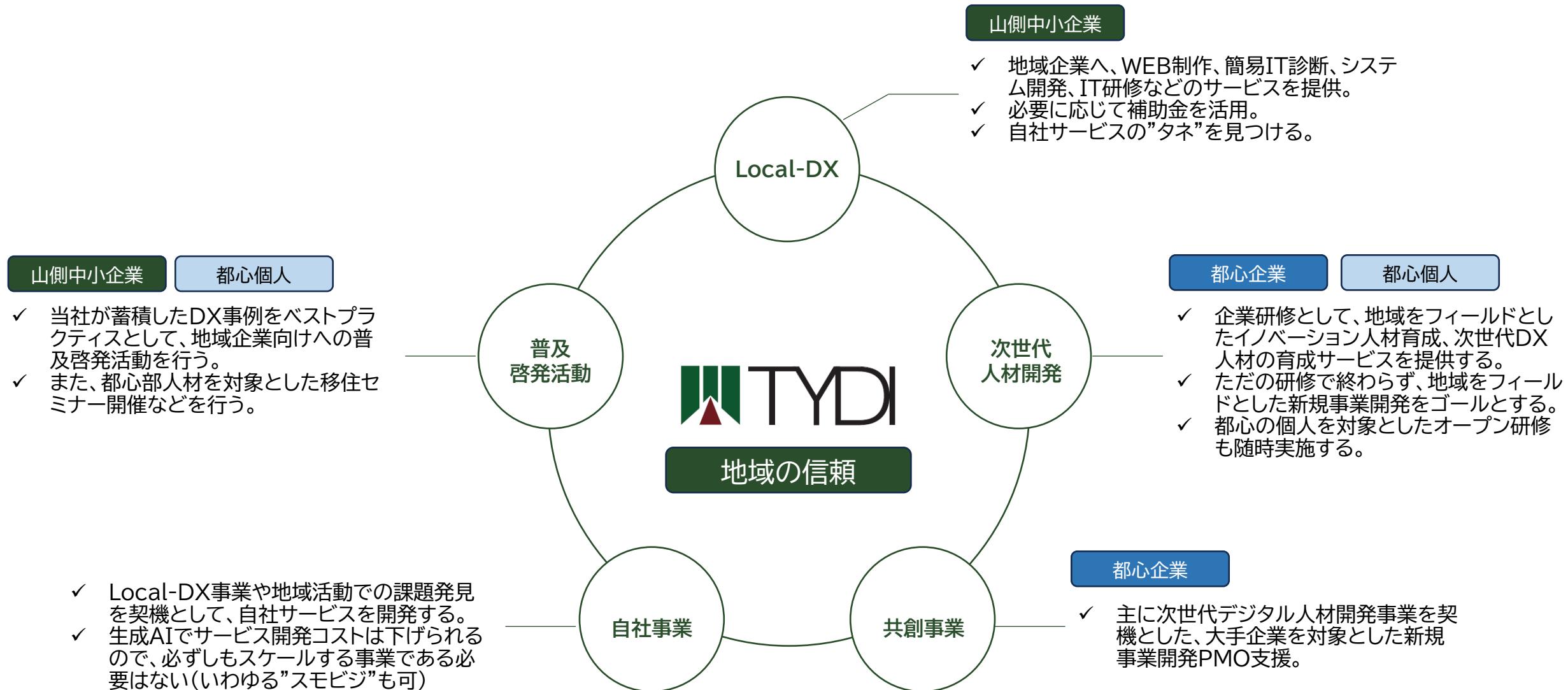
持続可能な地域社会の形成と、

東京「山側」の立地を活かし、国際経済として
である東京23区の企業・人材を対象にサービス
を提供し、地域貢献と、地域外への高付加価値
なサービス提供の両輪を目指す。

世界に通用する日本企業の成長に寄与する。

事業內容

事業紹介



DX・AI導入支援

東京山側エリアの企業を対象として、紙ベースの既存オペレーションのデジタル化などのDX・AI導入支援を行っています。

【支援内容】

- DXコンサルティング
- アプリ／システム開発
- 生成AI導入支援

【支援事例】

- ✓ 製造業(板金加工)工程管理システム開発
- ✓ 勤怠管理システム開発
- ✓ 見積・請求書発行システム開発
- ✓ 生成AIを活用したSNS運用効率化

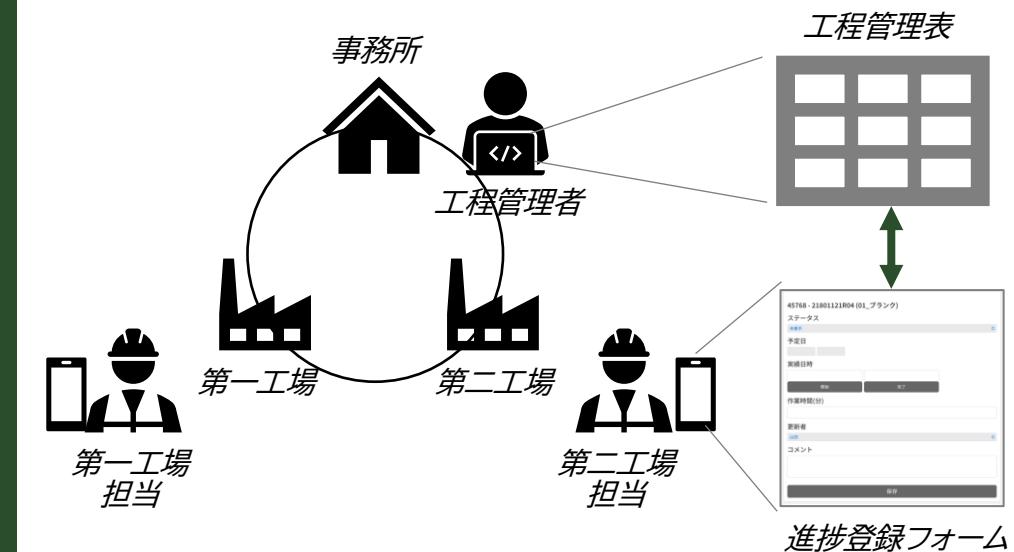
支援事例:板金加工業様

課題

板金の製造において、どの受注が、どの工程まで進んでいるかを可視化できておらず、顧客からクレームが発生していた。

解決策

Google Workspaceをベースとし、スプレッドシートとGAS(Google App Script)にて、工程管理表と、担当者が直観的に工程の進捗を登録できるUIを開発した。



WEB制作

東京山側エリアの企業およびNPOを対象として、
WEB制作支援を行っています。

【支援内容】

- コーポレートサイト制作
- ランディングページ制作
- 既存WEBサイト改修

【制作事例】

- ✓ 東京山側アドベンチャートラベルガイドスクール
- ✓ Japan Tour Operator(英語サイト)
- ✓ 秋川駅 北口会
- ✓ NPO法人全国救護活動研究会

その他多数

支援事例



TAMA INNOVATION PROGRAM

「地域課題をビジネスで解決する力を身に着けたい方」を対象とした
産学連携講座。

イノベーションに有効な「システム×デザイン思考」の専門大学院として知られる、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科白坂研究室 監修。

リアルな地域課題を対象に、「システム×デザイン思考」を駆使し、イノベーティブな解決方法を創出できる人材を育成する。



慶應SDMの「システム×デザイン」思考を駆使して、
地域の課題を解決するローカル・イノベーターを目指せ



東京山側
DMC



慶應義塾大学大学院システムデザイン・
マネジメント研究科 白坂研究室

- 地域の魅力を世界へ -
インバウンド × イノベーション



- 地域のヒトカネモノ不足を解決 -
地域課題解決 × イノベーション



- 森林による価値創造 -
森林活用 × イノベーション



- 高齢社会をチャンスに -
ヘルスケア × イノベーション



東京都ワーケーション交流事業

地域課題解決をテーマとした研修ツアーを実施しています。東京多摩島しょ地域交流ワーケーション体験ツアーにおいては、大手企業2社計6名をお招きし、地域課題を学ぶフィールドワークと解決策を検討するアイデアワークショップを開催しました。

【パートナー】



株式会社東京山側DMCは、あきる野市、八王子市などを拠点に「東京山側」の豊かな自然、歴史、文化を活かした「探究型自然体験学習スクール」と「アドベンチャートラベル(AT)」事業を展開するDMC(Destination Management Company)です。地域資源の価値を再編集して事業化することで、地域の課題解決と持続可能な成長、そして観光による地域創生を目指しています。



X-Bound Program

X-Bound Programは、東京山側を舞台としたビジネスアーキテクト人材(上流工程・マネジメント型DX人材)育成プログラムです。越境学習とDX/AI実装を融合した実践的な学習体験を提供します。

多種多様な業種の地域経営者が抱える課題に対し、AIなどを活用して、高速でPoCを行います。テーマは①新規事業開発 ②既存事業の高度化 ③業務効率化 から選定します。

IPA「DX推進スキル標準(DSS)」に準拠したカリキュラムで体系的に学習。さらに大手企業ではセキュリティ制約などで難しい生成AI活用を実践で習得できます。

小規模チーム制により、課題整理から最小実装まで密度の高い学習を実現。越境学習により、現場での課題解決能力を身につけます。

日帰り参加も可能で、終了後の懇親会を通じて社外ネットワーク形成もサポート。持続可能な地域社会形成と日本企業の成長に寄与することを目指したプログラムです。

X-Bound Program

Business Architect Training

X = Cross (越える) + Bound (境界)



TEGAMI Box

■ サービス名

TEGAMI Box(テガミボックス)

■ 提供価値

- ・日本人ライターによる100%手書きの手紙
- ・和紙や筆跡を通じた、日本文化・季節感の体験
- ・自然な日本語表現に触れる学習機会
- ・郵便で届くことによる特別感・記憶に残る体験

■ サービス内容

利用者はサブスクリプションに登録し、月1回、
日本から国際郵便で手書きの手紙を受け取ります。

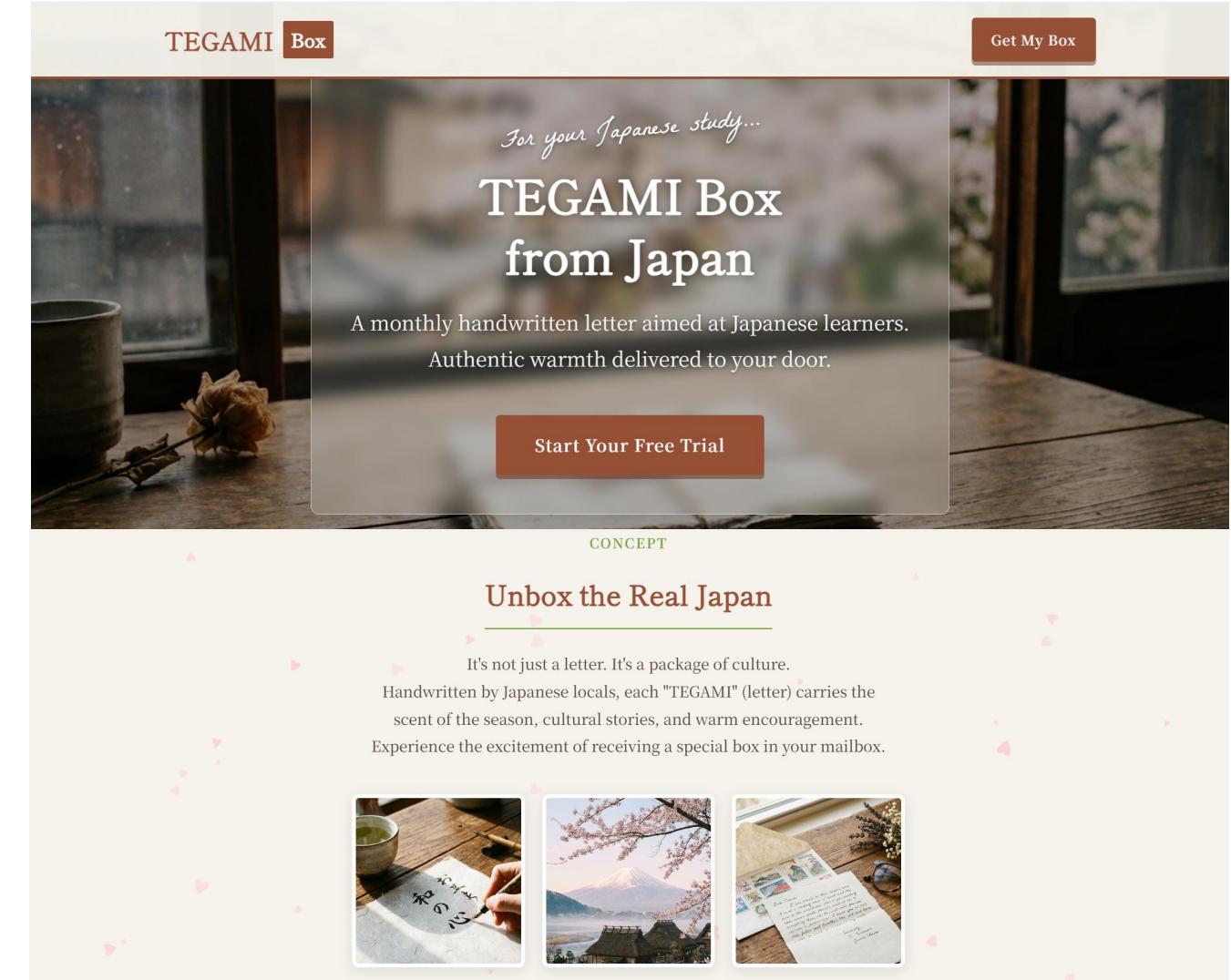
手紙の内容は、日本の日常や季節、文化をテーマに構成されて
おり、希望に応じて文通(返信)も可能です。

■ 事業の特徴

- ・デジタル時代に逆行する「アナログ×文化体験」モデル
- ・海外向けD2C(Direct to Consumer)サブスクリプション
- ・日本文化・日本語学習ニーズを同時に満たすサービス設計

■ 想定利用者

- ・日本語を学習している海外在住者
- ・日本文化に強い関心を持つ外国人
- ・日本との継続的なつながりを求める層



移住・定住セミナー運営

東京都あきる野市移住定住促進課や東京都から依頼を受け、都心部からの移住当事者として移住セミナーを開催。

【開催例】

- ✓ セミナー「東京のトカイナカで叶えるリモートワーカーの理想の暮らし」
- ✓ セミナー「西多摩子育てパパママトーク」
- ✓ あきる野市移住者交流会



地域活動

持続可能な地域づくり、地域課題の吸い上げのため、地域活動に積極的に参加。

あきる野青年会議所

西多摩最大級の花火大会「秋川流域花火大会」の運営。PJ管理、HP制作、SNS運用など。



あきる野市消防団

訓練、火災発生時の出動など地域防災活動



リバークリーンナップ

地域内外の人と協働した秋川の清掃活動



その他プロボノ

障がいのある子も参加できる「アート×AI」イベント開催、子ども食堂のHP制作など



イラスト×AI動画に
あきる野
造形教室



パートナー

山崎 啓介



むすびかなでる代表

15年以上IT業界で経験を積み、システム開発・営業・プロジェクトマネジメントを担当。大手メーカーでのSEを経て、ITコンサルティングファームにて顧客管理システム開発をリード。独立後は中小企業のDX化を支援し、建設や製造など幅広い業種の業務改善に貢献。2024年には顧問先企業の取締役に就任し、経営企画やDX推進を主管。大学講師やICT支援員として教育活動にも取り組んでいる。

栗林 陽



株式会社aund代表取締役

新卒で大手SIerにて営業・プロジェクト支援を経験後、人材育成会社で企業研修の企画・実行に従事。「社内史上最速の研修受注」を記録し、既存にない研修を0→1で企画。その実績を評価され新規事業の専門部署でSaaSのプロダクトマネージャーを務める。さらに学研ホールディングスの人事戦略室へ出向し、内製の研修をゼロから立ち上げる実装フェーズを経験。提供側／発注側の双方を知る立場から、現場に根づく会議・人材開発の仕組み化を得意とする。

田中 篤



フルスタックエンジニア

インフラエンジニアとして金融ネットワーク設計構築・運用保守を経験後、Webエンジニアへ転身。受託開発と上場企業の自社開発の2社で、フロントエンドからバックエンドまで幅広く、要件定義からリリースまで一貫して担当。飲食業界向けSaaS、SNS、オンライン教育など多様なプロジェクトで事業成長を支援。現在はフリーランスとして、AIを活用した自社サービスの設計・開発やスケーラブルなシステム構築に取り組んでいる。



東京山側デジタル推進機構

Tokyo Yamagawa Digital Initiative